

■ 1幕 ■

山小屋である。雨の音がしている。
女が立っている。

女　こんばんは。ある夜、私に起きた出来事をお話しします。
ここはとある山。山小屋です。雨が降り出したのは30分
前。ビー玉みたいな重たい粒が、一つ二つ、私の肩を叩い
たかと思うと、すぐに、大きな塊になって落ちてきました。

カップパを着た男が二人、駆け込んでくる。

栃谷　無理無理！これ無理ですよすぐには！
大滝（女に）　すごいよ、視界ゼロ！
女　えー大丈夫？！
栃谷　一旦落ち着くまで待機！
大滝　あはい！あーまいった。

大滝、カップパを脱ぎ、栃谷に渡していく。
と同時に、熊木も現れ、

熊木　朝まで止まないやつかもしれないなこれ。
大滝　え？
熊木　雨。朝まで止まないやつかもしれないですよ。
大滝　わかるんですか？
熊木　川の音が。響きがね、違うんです。
大滝　あ、へー。だって。
女　うん。
熊木　明日は無理だな川釣り。
栃谷　タオルありますか？
大滝　あすいません。大丈夫です。
栃谷　なんだ。あったかいもんでも出すか。出しますかなんか。
熊木　鍋にかぼちゃのポタージュが。あったためて。
栃谷　あはい。

栃谷、大滝のカップを持って去る。

女 品沢君は？

大滝 あれ？あいつ、

熊木 今テラスに。入れと言ったんですが。止まないなこれは。

熊木も去る。

女 なぜ山小屋にいるのか。それは数時間前に遡ります。

雨の音が止まり、場面が変わる。

原付の走行音。

少し気まずげな様子でたたずむ、女と大滝。

大滝 ごめんなもうちよい。

女 うん。

大滝 大丈夫？家空けてきたでしょ？

女 大丈夫。

大滝 んだあいつ…。

品沢、箱を抱えて現れる。

品沢 悪い！

大滝 おおなにやってんの！

品沢 いやその公衆便所が使用禁止でさあ！

大滝 なにやってんだよ。

品沢 びびった(笑)。便所いいですかって聞いたら、すげえ見られてさ(箱を)。

大滝 は？誰に？

品沢 コンビニコンビニ。

大滝 あコンビニで済ませてきたのね？わかんないよちゃんと
言わなきゃ。

品沢 なんなの使用禁止って。

大滝 知らないよ、あんだいるいる。(女に) ごめんね。品沢。